

学校だより 福山市立向丘中学校



# 自律貢献



NO.2  
2020年  
(令和2年)  
5月7日  
校長 皿谷 修

## 臨時休校延長にあたり

臨時休業が5月31日まで延長となり、保護者のみなさまには、柔軟かつ丁寧に対応していただき、誠にありがとうございます。依然、全国に「緊急事態宣言」が出されており、コロナウイルスの終息は、まだまだ先が見えない状況ですが、引き続き感染防止に努めて参りましょう。

さて、生徒のみなさんには、5月も家庭学習を基本とし、生徒（保護者）の選択による自由登校を行います。先日行ったアンケートでは、

「お子様は健康で規則正しい生活を送り、家庭学習をがんばっている。」

とてもあてはまる	21人	あてはまる	83人
どちらともいえない	68人		
あてはまらない	21人	全くあてはまらない	10人

未回答 154人（1年53人、2年46人、3年44名 4月28日現在）

以上のような結果でした。学校も保護者も、そして生徒のみなさんも未体験の長期の臨時休業で、ご心配をおかけしますが、よろしくお願い致します。

その中であって、学校では、少しでも前へ進む、普段ではできないこと、生徒たちの力になれることは、と教職員一同で思案し、まず、次のことから始めています。

### 1 担任の先生による3回の個人面談

5月に3回の個人面談を行います。休業中の学習への質問、ストレス解消へのアドバイス、進路の相談等々、先生たちを大いに活用してください。

そして何より、皆さんの話を聞きたいです。通常の学校があっても、担任の先生と2人でじっくり話す機会はなかなか持てないものです。何でも構いませんので、たくさん話してください。楽しみにしています。



### 2 在宅での確認テスト

生徒のみなさんには家庭学習を中心に、勉強を継続してもらっていますが、これで大丈夫なのか？学習したことが身についているのか？など不安があると思います。そこで、5月の18日、19日に確認テストを配布します。本来、行うはずだった中間テストだと思って、自宅で挑戦してみてください。



しかし、このテストは、成績のための評価テストではありません。みなさんが自分でどれくらい力がついたかを知るためのテストです。そして、先生たちが、生徒の力（家庭学習）だけで、どれくらい力がつくのかを知るためのテスト、生徒の「知りたい・学びたい」という、生徒が元来持てる力を再確認するテストです。その結果を分析し、学校再開後の授業に役立てたいのです。

先生たちは、今まで当たり前だった、教師が教科書の内容を「説明・発問・板書」したものを、生徒が「黙って聞く・挙手して発表する・ノートに書く」といった授業の在り方を問い直したいと思っています。教師が教えるべきところはしっかりと教えながら、教室では最大限、仲間と語り合ったり、問いを深め合ったりしながら、「わかった」「できた」「どうしてだろう」「ありがとう」などの「声」が聞こえる授業を目指しています。

みなさんがいない学校、長期臨時休業中だからこそ感じる、授業の価値、教室の価値、学校の価値を大切にしたいと思っています。

## 先生たちも頑張っています！

先生たちも、感染拡大のリスクを抑えることを徹底しながらも、学んでいます。子どもたちが生きる未来、主体的な学びとは、コーチングスキル、変化への対応等々。教師が主体性を発揮し、現実の課題解決学習に取り組んでいます。

